

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：農村教育推進費

事業名 農業海外研修事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農業経営課 普及企画係 電話番号：058-272-1111 (内4083)

E-mail：c11419@pref.lg.jp

1 事業費 1,200 千円 (前年度予算額： 1,200 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,200	1,200	0	0	0	0	0	0	0
要求額	1,200	0	0	0	0	0	1,200	0	0
決定額	1,200	0	0	0	0	0	1,200	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

農業に関する知識・技術を学ぶことを目的とした海外農業研修に参加する若手農業者や学生等を支援することで 地域農業のリーダーとして、輸出や海外への事業展開等を担う国際的な農業人材を育成する。

(2) 事業内容

若手農業者や学生等が海外農業研修に参加するために必要な経費を助成する。支援する経費の上限は、研修生1名につき1海外研修当たり助成対象経費の2分の1又は60万円のいずれか低い額とする。 補助率 1/2以内

(3) 県負担・補助率の考え方

国庫 10/10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	1,200	農業海外研修事業費補助金
合計	1,200	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略、ぎふ農業・農村基本計画

(2) 国・他県の状況

愛知県、三重県予算対応済み。

(3) 後年度の財政負担

国庫

(4) 事業主体及びその妥当性

岐阜県が実施する。県下の若手農業者、学生等を対象とした取組みであり妥当。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
海外研修を受講した国際的な農業人材を育成する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R1)	R3年度 実績	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R7累計)	達成率
①海外研修受講者 (人)	0	0	0	1	2	4	0%
②							

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染症の影響により海外研修の実績なし。 目標設定なし
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染症の影響により海外研修の実績なし。
	指標① 目標： 1 実績： 0 達成率： 0 %
令和5年度	令和7年度当初予算にて追加
	指標① 目標： 1 実績： 1 達成率： 100 %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない 	
(評価) 3	前年度まではコロナ感染症の影響で要望がなかったが、今年度、農業大学生1名の海外研修の事業要望が初めてあった。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	海外研修受講者の目標1人に対し、実績が1名であった。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている 	
(評価) 2	前年度まではコロナ感染症の影響で事業実施がなかったが、今年度は事業を実施した。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 特になし

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか ニーズをよく聞き取り、事業を継続して実施していく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	